

2023年度第2回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 君子蘭賞

君子蘭（くんしらん）は、ヒガンバナ科クンシラン属の総称。原産は南アフリカで、日本へは明治時代に伝わった。春にオレンジ色で広漏斗状の花をつける。花言葉は「高貴」「誠実」。

○ 丹波特別

丹波（たんば）は、旧国名のひとつ。現在の京都府中部と兵庫県東部にあたる。本能寺の変で主君の織田信長を討った明智光秀が領有していたことで知られる。日本六古窯のひとつである丹波立杭焼が有名。

また、兵庫県東部の市。同市は平成16年に氷上郡の柏原・氷上・青垣・春日・山南・市島の6町が合併して誕生した。

○ 毎日杯（GⅢ）

本競走は、昭和29年に創設された重賞競走。創設当初は『東京優駿（日本ダービー）』の直後に実施されていたが、46年に実施時期が3月に繰り上げられた。また、平成19年に実施距離が2000mから1800mへと短縮された。

毎日新聞社は、東京など全国に4ヶ所の本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 四国新聞杯

四国新聞社は、香川県高松市に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 御堂筋ステークス

御堂筋（みどうすじ）は、大阪市北区と中央区の2区を南北に通じる約4kmの幹線道路。名は、本町付近の西側沿いに西本願寺別院の北御堂と、東本願寺別院の南御堂があることに由来し、沿道のイチョウ並木は市のシンボルとなっている。

○ 六甲ステーキス（L）

六甲（ろっこう）は、神戸市灘区の地名。兵庫県南東部に位置する六甲山は、周辺の鉢伏山・鉄拐山・石楠花山・摩耶山などと六甲山地を形成し、その最高峰に位置している。冬季を中心に六甲山系から吹き降ろす強い寒風を「六甲凧（おろし）」と呼び、プロ野球球団「阪神タイガース」の球団歌の通称としてその名が知られている。

<第3日>

○ 三木ホースランドパークジャンプステーキス

三木（みき）ホースランドパークは、平成 11 年に開園した兵庫県三木市にある馬事施設。体験乗馬などを通じて馬を身近に感じられるほか、総合馬術競技場・キャンプ場・研修センターなども併設されている。

○ アザレア賞

アザレア（Azalea）は、ツツジ科の常緑低木。花は大形で、色は桃・紅・白など多彩。台湾の原種がヨーロッパで改良され、その品種は 150 以上にのぼる。花言葉は「恋の喜び」「自制心」。

○ ラジオ関西賞仲春特別

仲春（ちゅうしゅん）は、陰暦 2 月の異称。季語や時候の挨拶などに用いられる。ラジオ関西は、兵庫県神戸市に本社を置く放送局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ ポラリスステーキス

ポラリス（Polaris）は、こぐま座のアルファ星で北極星。北極星は、地球の自転軸を北極側へと延線した線上付近に位置し、地球上からはほとんど動いていないように見える。そのため、天測航行の際には正確な測定をするための固定点として用いられる。

<第4日>

○ 明石特別

明石（あかし）は、兵庫県南部、明石海峡に面する市。かつては山陽道・四国街道の分岐点の宿駅で、松平氏の城下町であった。東経 135 度の日本標準時子午線上に明石市立天文科学館がある。

○ 心齋橋ステークス

心齋橋（しんさいばし）は、大阪市中央区の街。名は、長堀川を開削した岡田心齋に由来する。心齋橋筋商店街一帯には、百貨店や高級ブランド店などが立ち並び、大阪を代表する繁華街となっている。

○ 大阪杯（G I）

本競走は、昭和 32 年に創設された重賞競走。創設当初は 1800m で実施されていたが、47 年に 2000m となり、56 年に実施時期が 3 月上旬から約 1 ヶ月繰り下げられた。春季競馬における古馬中距離路線の一層の充実を図るため、平成 29 年に G I 競走へ格上げされ、現在に至る。

○ 陽春ステークス

陽春（ようしゅん）は、陽気の満ちた暖かな春のこと。陰暦正月の異称でもある。

<第 5 日>

○ 白鷺特別

白鷺（しらさぎ）は、サギ科の中でも白い鳥の総称。日本にはダイサギ・チュウサギ・コサギなどが生息している。世界文化遺産で国宝の姫路城は、その白亜の美しさから「白鷺城」とも呼ばれている。

○ 大阪ーハンブルクカップ

本競走は、大阪市と友好都市提携しているドイツ・ハンブルク市と、競馬を通じて国際親善を深める目的で平成 9 年に創設された交換競走。

ハンブルク（Hamburg）は、ドイツ北西部に位置するドイツ第二の都市。同市にあるハンブルク競馬場では、阪神競馬場との交換競走として『Hanshin Cup』が実施されている。

○ サンケイスポーツ杯阪神牝馬ステークス（G II）

本競走は、昭和 33 年に『阪神牝馬特別』として創設された重賞競走。平成 13 年には、『阪神牝馬ステークス』へと競走名が変更された。創設以来、数回の距離変更を経て 19 年からは 1400m で実施されてきたが、28 年から 1600m に延伸して実施され、『ヴィクトリアマイル』の前哨戦としての位置付けをより色濃くしている。

なお、第 1 着馬には同年のヴィクトリアマイルへの優先出走権が与えられる。

サンケイスポーツは、産業経済新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第6日>

○ 吹田特別

吹田（すいた）は、大阪市に北接している大阪府中部の市。昭和45年の日本万国博覧会（大阪万博）の開催地。ビール・化学・金属工業等の産業が盛んで、大阪市のベッドタウンとなっている。

○ 忘れな草賞（L）

忘れな草（わすれなぐさ）は、ヨーロッパ原産のムラサキ科の多年草。春に尾状に巻いた花序を出し、青紫色などの小花をつける。花言葉は「真の愛」「私を忘れないで」。

○ 競馬法 100 周年記念

本競走は、競馬法制定 100 周年を記念して実施される。

競馬法は、大正 12 年（1923 年）3 月 24 日に成立し、4 月 10 日に公布、7 月 1 日に施行された。施行後初の勝馬投票券を発売した競馬開催が同年 8 月 24 日から 26 日にかけて札幌競馬場で行われた。同法の制定が、今日に続く競馬の発展の礎を築くこととなった。

○ 桜花賞（G I）

本競走は、イギリスの『1000 ギニー』に範をとり、昭和 14 年に『中山 4 歳牝馬特別競走』として創設された重賞競走。牝馬 3 冠競走（『桜花賞』・『優駿牝馬』・『秋華賞』）の第一関門となっている。創設当初は中山競馬場の 1800m で実施されていたが、22 年に京都競馬場へ舞台を移し、実施距離を 1600m へ変更したのを機に現在の競走名となった。その後、25 年に開催場が阪神競馬場に移され、現在に至る。

なお、第 5 着までの馬には優駿牝馬（オークス）への優先出走権が与えられる。

○ 梅田ステークス

梅田（うめだ）は、大阪市北区西部の一地区。明治 7 年（1874 年）に現在の JR 大阪駅が開設されてから急速に発展し、JR・阪急電鉄・阪神電車・地下鉄・バスなどが集中する、関西一の大ターミナルとなった。大阪駅、梅田駅周辺には「キタ」と呼ばれる繁華街が広がる。

なお、同地区には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ梅田がある。

<第7日>

○ 千種川特別

千種川（ちくさがわ）は、中国山地を源とし、兵庫県の南西部を流れる川。環境省によって選定された名水百選のひとつ。赤穂市の全給水量のおよそ半分を賄っている。

○ 天満橋ステークス

天満橋（てんまばし）は、大阪府大阪市の大川にかかり、北区と中央区を結んでいる橋。江戸時代から天神橋、難波橋と並び浪華三大橋（なにわさんだいきょう）と呼ばれ、市井の人々に親しまれていた。また、天満橋南詰周辺を指す地名でもある。

○ アーリントンカップ（GⅢ）（NHKマイルカップトライアル）

本競走は、昭和 62 年に『ペガサステークス』の名称で創設された重賞競走。平成 4 年に阪神競馬場とアーリントンパーク競馬場が姉妹競馬場として提携したことに伴い、『アーリントンカップ』に改称された。29 年までは 2 月下旬から 3 月上旬に実施されていたが、30 年より 4 月に移設され、『NHK マイルカップ』のトライアルレースとなった。

なお、第 3 着までの馬には NHK マイルカップへの優先出走権が与えられる。

<第 8 日>

○ 蓬萊峡特別

蓬萊峡（ほうらいきょう）は、兵庫県西宮市にある峡谷。六甲断層の断層破碎帯にできた景勝地で、花崗岩の崩れた断崖が形成されている。また、六甲山地の代表的な登山ルートとして広く知られている。

○ 立雲峡ステークス

立雲峡（りつうんきょう）は、朝来山の中腹に位置する峡谷。春には樹齢 300 年を超える老桜を筆頭に山桜やソメイヨシノが咲き誇り、山陰随一の桜の名所として但馬吉野と呼ばれている。立雲峡のある朝来郡山県立自然公園の展望台からは、「天空の城」と称される竹田城跡を望むことができる。

○ アンタレスステークス（GⅢ）

本競走は、平成 8 年に創設された重賞競走。翌 9 年に京都競馬場へと舞台が移されたが、24 年より再び阪神競馬場へ移設され、現在に至る。また、創設当初はハンデキャップ戦であったが、15 年に別定重量戦へと負担重量が変更となった。

アンタレス（Antares）は、さそり座のアルファ星で、直径は太陽の約 700 倍とも推定される赤色超巨星。ギリシャ語で「火星に対するもの」の意。